

平成30年度 岡山学芸館高校 選抜1期入試【2月1日】 解答解説（社会）

1

- 【正解】 ①(1) エ (2) (例)情報を正しく活用する力。
 ②(1) ア, カ (2) 連立政権(連立内閣) (3) ア (4) 公聴会
 ③(1) クレジット(カード) (2) 小売(業者)
 (3) (例)消費者が商品の欠陥で損害を受けたとき、製造者に賠償責任を求められることができる法律。

【解説】

- ①(1) 国際分業とは、各国が得意な分野で生産活動を行うことである。現代社会は、国際分業により貿易がますますさかんになることで国どうしの依存が強まりつつあるので、**エ**が誤り。
 ②(1) 被選挙権は、選挙に立候補する権利である。**ア**の都道府県知事と**カ**の参議院議員の被選挙権が30歳以上、**イ**の市(区)町村長、**ウ**の都道府県議会議員、**エ**の市(区)町村議会議員、**オ**の衆議院議員の被選挙権は25歳以上となっている。
 (3) **イ**は精神(精神活動)の自由にかかわる条文、**ウ**は身体(生命・身体)の自由にかかわる条文、**エ**は社会権の一つである生存権を保障する条文である。
 (4) 法律案は、まず委員会で審議され、その後本会議で採決が行われる。委員会での審議の際には、より深い議論を行うために利害にかかわる者や有識者を招いて意見を聞く公聴会が開かれることがある。
 ③(2) 商品が生産者から、卸売業者や小売業者を経て消費者に届く流れを流通という。小売業者には、コンビニエンスストアやスーパーマーケットなど日常的にわたしたちが買い物をする店の多くが含まれる。

2

- 【正解】 ① ア ② 源氏物語 ③ 後鳥羽(上皇)
 ④ ウ ⑤ (例)全国の商業の中心地であったため。 ⑥ イ

【解説】

- ① 『万葉集』がつくられた奈良時代は律令に基づく政治が行われ、班田収授法によって人々には口分田が与えられていた。しかし、次第に人口が増加して口分田が不足してきたことから、聖武天皇が墾田永年私財法を出した。**イ**は飛鳥時代に聖徳太子が行ったこと、**ウ**は江戸時代に徳川吉宗が行ったこと、**エ**は鎌倉時代後期に鎌倉幕府が行ったことである。
 ② 9世紀末に遣唐使が停止されたころから、日本の風土や日本人の感情に合った国風文化が栄えるようになった。漢字をもとに仮名文字が成立し、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』といったすぐれた文学作品が数多く生まれた。
 ④ **ア**と**イ**は江戸時代、**エ**は弥生時代である。
 ⑤ 江戸時代の大坂は、江戸・京都とともに三都の一つとして栄えた。

3

- 【正解】 ① a ア b エ ② 5(時間) ③ エ
 ④ (例)輸出品の価格が天候や景気によって変動しやすいので、国の収入が不安定になる。 ⑤ エ

【解説】

- ② Pは西経45度、Qは東経30度であるので、ブエノスアイレスとカイロの経度差は75度となる。時差は経度15度ごとに1時間生じることから、 $75 \div 15 = 5$ より、時差は5時間である。
 ④ 特定の農産物や鉱産資源の輸出に依存する経済をモノカルチャー経済という。モノカルチャー経済の国は、依存している農産物や鉱産資源の国際価格や生産量の変動が国の経済に大きく影響するため、経済が不安定になりやすい。東南アジアなどでは、工業化を進めることで農産物に依存する経済から脱却した国も出てきている。
 ⑤ 茶の輸出が多い**ア**はケニア、銅鉱の輸出が多い**イ**はペルーである。残る**ウ**と**エ**のうち、輸出総額が最も多い**ウ**がメキシコ、残る**エ**が南アフリカ共和国となる。

4

- 【正解】 ① 銘柄(米) ②(1) 木曾(山脈) (2) イ (3) ウ
 ③(1) (例)河川が山地から平地に出るところに土砂が積もってできる。 (2) エ
 ④ イ

【解説】

- ②(1) 日本アルプスは、中部地方に連なる飛驒山脈、木曾山脈、赤石山脈のことをいう。連なる位置から、飛驒山脈は北アルプス、木曾山脈は中央アルプス、赤石山脈は南アルプスと呼ばれる。
 (2) 内陸の気候(中央高地の気候)に属する松本市は、4つの都市の中で1月の平均気温が0度以下で、8月の平均気温との差が大きい**イ**が当てはまる。温暖で降水量が少ない**ア**は瀬戸内の気候に属する岡山市、1月の降水量が多い**ウ**は日本海側の気候に属する金沢市、8月の降水量が多い**エ**は太平洋側の気候に属する横浜市に当てはまる。
 (3) 長野県と県境を接している県は、群馬県、埼玉県、新潟県、富山県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県の8県である。**ア**は愛知県、**イ**は静岡県、**エ**は群馬県である。成田国際空港が位置するのは千葉県である。
 ③(2) **ア**は針葉樹林、**イ**は広葉樹林、**ウ**は畑の地図記号である。扇状地は水はけが良いため、かつては桑畑に多く利用され、現在は果樹園に多く利用されている。
 ④ **ア**について、人口密度は、新潟県が約183.1人/km²、長野県が約154.8人/km²で、長野県の方が低いため誤り。**イ**について、総面積にしめる耕地面積の割合は、新潟県が約13.7%、山梨県が約5.4%で、新潟県の方が高いため、正解となる。**ウ**について、総人口にしめる農業就業人口の割合は、山梨県が約3.3%、長野県が約4.0%で、長野県の方が高いため誤り。**エ**について、耕地面積が大きい順に新潟県、長野県、山梨県であるが、農業就業人口は多い順に長野県、新潟県、山梨県となるので誤り。

5

- 【正解】 ① ペリー
 ②(1) エ (2) (例)アメリカ軍が日本に駐留することを認めた。
 ③ ウ ④ ウ ⑤ 辛亥革命 ⑥ **ア**→**エ**→**ウ**→**イ**

【解説】

- ②(1) 条約は内閣が締結し、国会が承認する。天皇は外国の訪問などで国際親善により交流を深める役割を果たしているが、政治に関する権能を持たないことから、条約の締結に直接関わることはない。
 ③ 幕末にイギリス・フランス・アメリカ・オランダの4か国が占領したのは、下関(現在の山口県)である。幕末、外国の勢力を排除しようとする攘夷論が高まった。長州藩は、攘夷を決行するため、関門海峡を通る外国船を砲撃していた。この報復としてイギリス・フランス・アメリカ・オランダの4か国が連合して攻撃し、下関砲台を占領した。このできごとにより、長州藩は攘夷の実行が不可能であることを認識した。
 ④ **ア**の原敬は大正時代に初の本格的な政党内閣を組織した人物、**イ**の板垣退助は明治時代に自由民権運動を進めた人物、**エ**の犬養毅は昭和時代初期に五・一五事件で暗殺された人物である。不平等条約の改正は、1894年に陸奥宗光の交渉によって領事裁判権の撤廃に成功し、1911年に小村寿太郎の交渉によって関税自主権が完全に回復したことで達成された。
 ⑤ 1911年に辛亥革命によって清が倒れると、孫文は臨時大総統となって中華民国を建国した。
 ⑥ **ア**(1973年)→**エ**(1978年)→**ウ**(1989年)→**イ**(2001年)の順である。